

上手に梅雨を過ごしましょう!!



今年度2回目の『ふよう教室』ですが、新しい友だちが3名増えました。前は少しお休みが多く寂しかったですが、また賑やかになりました。『ふよう教室』は、学校以外での同年代の友だちと関わるよい場でもあります。遊んでいる遊具を介して「何年生? えっ! 2年生、ぼくと同じだね。」と、さっそくコミュニケーションをとっている微笑ましい場面がありました。また、お父さんの参加も2名ありました。家での子どもとの関わり方を学びたいとお母さんと一緒に参加してくださった方、仕事で都合がつかないお母さんの代わりに来ていて、今後でもできる限り協力したいと言ってくださった方と、保護者の皆さんも、お母さんだけでなく、家族みんなで子どもさんに関わろうとされていて、大変嬉しく思います。これからも、一緒に身体を動かして遊んだり、情報交換をしたりして有意義な時間を過ごしてください。



さて、季節も夏に向かい、気温も徐々に上がってきましたが、それ以上に湿度が上がってきました。ただでさえ過ごしにくい時期にアトピーや感覚過敏等がある場合は、さらに不快感が増して情緒的に落ち着かないことがあります。だからと言って、汗をかかないように運動を控えたり、エアコンの効いた快適な空間でばかり過ごしたりするのは逆効果です。暑い夏だからこそ、しっかりと水分を摂って身体を動かし新陳代謝を促すことが大切です。でも、ここで気をつけたいことは、汗の始末です。タオル(濡れおしぼり)でこまめに汗を拭き取る、濡れた衣服の交換、洗顔やシャワー等の対応で心身を心地よい状態に保つことができます。エアコンも上手に利用しましょう。



8月10日の予定

(この日は、時間帯が変わります。)

- * 午前9時30分から11時です。
- * この日の【にこにこ相談会】は、お休みさせていただきます。
- * 欠席される場合は、早めにご連絡ください。

【にこにこ相談会】

申し込みで個別に対応しますが、こんな話を聞きたい等の要望がありましたらスタッフまでお伝え下さい。みんなで一緒に一つのテーマで話を聞いたり、話し合ったりするのもいいですね。お待ちしております。

【コラム19】 《遊びが持っている栄養分(発達を促す要素)》 パートⅡ

* 基本的な運動遊び

- ① バランスや姿勢を保つことを促す遊び



傾いた自分の体を無意識に立て直し、保持するもの。

～転んだとき手足が出ずに怪我をしてしまう。姿勢が悪く机にもたれてしまうお子さんに～

- ② 両手・両足の遊び



左右の手足が上手く一緒に使えるようになることを両側の統合といい、さらに利き手(足)がはっきりしてくると、活動で主となる手と補助する手と役割分担ができてくる。

～両足とびが上手くできない、紙を持てはさみを使うことが苦手なお子さんに～

* 考えながら動きを作る遊び

- ① ちょっと複雑な全身の動きが必要な遊び
② ちょっと複雑な手先の動きが必要な遊び



初めて自転車に乗るとき等、馴染みのない複雑な動作を行う場合、頭の中で、「右足を上げて、左足を踏んで」というように考えて動かす。このようなプロセスをたくさん体験することは応用力を高めることにつながる。

* 正確な動きを促す手先の遊び

- ・ 見ながら手先を使う遊び



目で手先を見ながら正確に手を使っていくことは、手の細やかな操作能力の土台である。小さなものをつかみ、目的の場所に移動させるゲーム(コマ)遊びなど。

～小さな物をつまむのが苦手、お箸を使うのが苦手なお子さんに～